

福山市人権平和資料館に行きました

平和を願って折られた千羽鶴がたくさん届けられていました。



手城幼稚園の友だちと一緒に、資料館の方の話の聞いたり映画を見たりしました。幼稚園に帰ってから映画の内容を振り返って「決めつけ」「仲間はずれ」などについて思いを出し合い、考える機会になりました。



自分たちが住んでいるこの福山にも爆弾が落とされ、たくさんの方がなくなったことを聞きました。特に目の前の「母子三人像」についての話を聞く場面では、自分たちと同じ年の「しんちゃん」に思いを寄せながら真剣に聞いていました。

自分が気になる展示物を見て回りました。



資料館に保存されている焼夷弾を、特別に手の平に乗せてもらいました。「重いなあ〜」という感想も聞かれました。「怖いから早く帰りたいよ〜」と言う子もいて、子どもたちにとって自分たちが知らない『戦争』についてそれぞれに感じたり考えたりする機会となったようです。



～腕用消防ポンプ～

1941年当時、地域の寄付金300円で買った消防ポンプは完全なる人力。前を引っ張る人と後ろを押す人で、火災現場まで運び、ポンプを押して水を出し消火活動をした様子が展示されています。隣の火災現場にも駆けつけ、消火活動をする中で自然と人々の団結と連帯の心が生まれた話を聞きました。



帰りはお城を見ながら福山駅まで歩き、福塩線に乗りました。一人ずつ先生が用意していた小銭を受け取って券売機で切符を買い、緊張しながらも自動改札を通してホームへ。黄色い電車に乗り込み、窓の外の景色を見たり、手元の切符を見て「あれ、小さい穴があいてる」「僕たちの切符は小さくて書いてあるよ」などおしゃべりしたりしながら電車の旅を楽しみました。幼稚園に帰り、みんなで楽しみにしていたお弁当とおやつを食べ、大冒険の一日になりました。